



主要プロジェクトの状況

①東九州自動車道

●着々と進む東九州自動車道

県北では、「築上(福岡県)～宇佐間」の約28kmにおいて、西日本高速道路(株)が事業を実施しており、28年度の供用計画を26年度に前倒しする目標が示されています。

県南では、「佐伯～北川(宮崎県)間」の約46kmにおいて、国土交通省が事業を実施しています。このうち、「蒲江～北浦(宮崎県)間」の約14kmについては、24年度に供用する目標が示され、現在、着々と工事が進められています。



【築上～宇佐間:中津市三光上秣付近】



【蒲江～県境間:佐伯市蒲江波当津付近】

②中九州横断道路

●着々と進む中九州横断道路

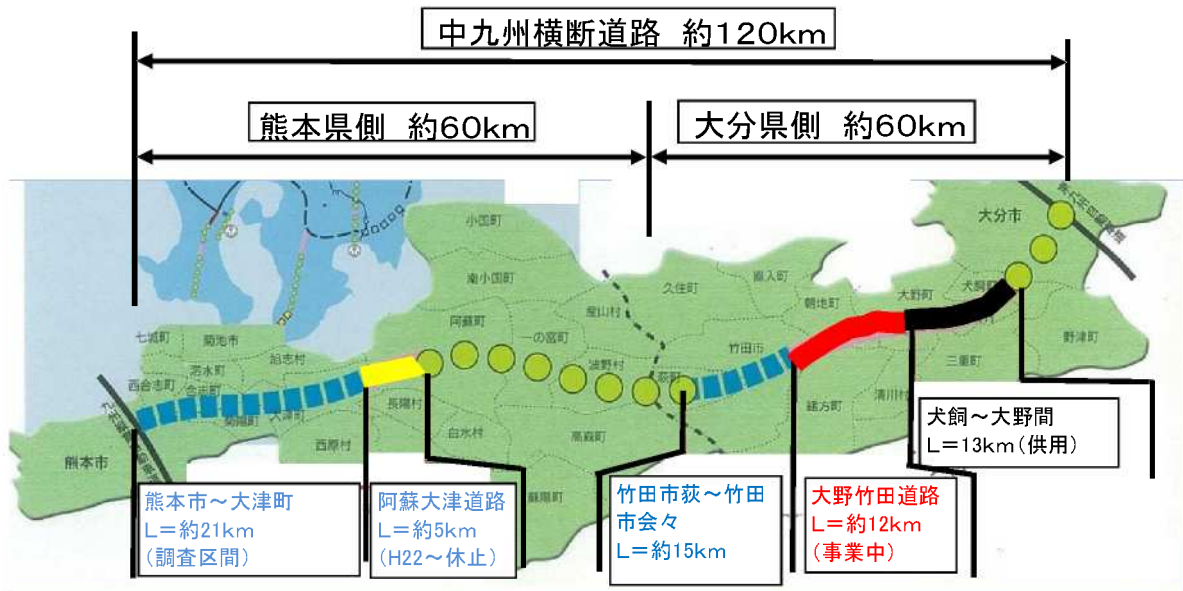
20年3月までに「犬飼～大野間」13kmが供用され、引き続き「大野～竹田間」の事業が国土交通省により進められており、現在、用地取得や工事が着々とおこなわれています。このうち、大野～朝地間については26年度に供用する目標が示されています。



【犬飼千歳道路:豊後大野市千歳町新殿付近】



【大野竹田道路:豊後大野市大野町屋原付近】



③中津日田道路

●着々と進む中津日田道路の整備

中津日田道路全長約50kmのうち直轄臨港道路区間を含めると、現在約28kmの区間を国土交通省及び県により事業を推進しています。

【中津道路、中津港線②を合わせた約4km区間については、H21年3月20日に供用済み】



④稲葉ダム(竹田水害緊急治水ダム)

●試験湛水完了

稲葉ダムは一級河川大野川水系の稲葉川に建設するもので、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境の保全を目的としています。

15年3月から本体建設工事を開始し、19年4月に堤体のコンクリート打設を完了しました。22年からは、ダムの安全性を確認するための試験湛水を実施し、22年5月末に完了しました。



稲葉ダム諸元

型 式: 重力式コンクリートダム
 堤 高: 56.0m
 堤頂長: 233.5m
 堤体積: 223,000m³
 総貯水容量: 727万m³

⑤大分駅周辺総合整備

●大分駅付近連続立体交差事業

久大本線及び豊肥本線は、20年8月に高架切替を行いました。
国道210号を全面通行止めにして行った大道陸橋撤去工事を無事完了させ、23年度は、駅部建築工事や軌道新設、電気・通信設備工事を行い、24年3月にはJR日豊本線が高架開業します。

【大道陸橋撤去完了後】H23.6



【大分駅部】H23.5



【大分駅完成予想図】



●地域高規格道路「大分中央幹線道路」(都)庄の原佐野線

大道・金池・上野工区の2.2kmは、20年度に全線供用開始しました。
今後は、元町・下郡工区の約1km間を整備していきます。

【金池工区】

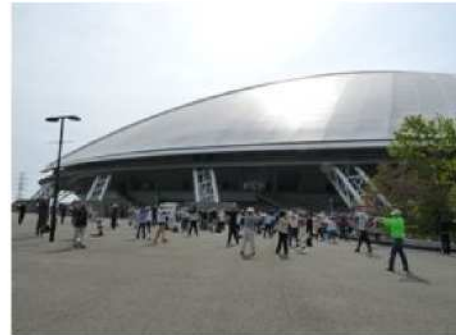


【元町・下郡工区完成予想図】



⑥大分スポーツ公園

14年度から行ってきた大分国体(チャレンジ おおいた国体)・全国障害者スポーツ大会(チャレンジ おおいた大会)に向けた競技施設等の整備が20年度に完了しました。22年度は、各種競技大会の他に100万人ラジオ体操みんなの体操祭やEXILEのコンサート等が開催され、利用者は年間およそ107万人に達しています。



主な施設概要

●総合競技場 概要

面積 51,830m²
 可動屋根 大型映像装置
 第1種公認陸上競技場
 全天候型舗装
 トラック400m 9レーン
 インフィールド天然芝
 FIFA基準適合
【利用料金】 AM9:00～PM9:00
【利用料金】
 観客席不使用 14,400円/時間
 観客席使用 28,800円/時間
 個人使用 100円/人・回

●サブ競技場 概要

面積 20,500m²
 第3種公認陸上競技場
 全天候型舗装
 トラック400m 6レーン
 (直線部8レーン)
 インフィールド天然芝
 走高跳び、幅跳び、棒高跳び
 円盤投げ、砲丸投げ、やり投げ
 ハンマー投げ
【利用料金】
 専用使用する場合 3,000円/時間
 個人使用する場合 100円/回・人

●テニスコート 概要

テニスコート20面
 (砂入り人工芝コート)
 面積 14,000m²
 照明灯付コート12面
 250ルクス(レクリエーション使用)
 500ルクス(国体競技等使用)
 付帯施設
 管理棟、運営棟、観客スタンド
【利用時間】 AM9:00～PM9:00
【利用料金】
 コート使用 400円/面・時間
 照明設備 300円/面・時間
 (250ルクス)
 600円/面・時間
 (500ルクス)

